

研修動画

「第六次長期研修計画」について

学校事務職員の挑戦 “自ら学び、ともに実践へ”

福島県公立小中学校学校事務研究会



令和9～18年度
福島県公立小中学校事務職員
第六次長期研修計画

学校事務職員の挑戦 “自ら学び、ともに実践へ”

～「想いをかたちに」するための教育支援～
協働(つなぐ)・連携(つなげる)・創造(つかさどる)



福島県公立小中学校事務研究会

「第六次長期研修計画」 をご準備ください



**音声聞き取りにくい
場合がございます**



長期的展望

「長期研修計画」
－ 研修・研究の具体策 －

社会情勢の変化

求められる役割

基本理念・目指す学校事務職員像



はじめに

昭和52年 福島県公立小中学校事務研究会 発足

昭和54年 第一次長期研修計画 開始

昭和56年 第二次長期研修計画 開始

平成 5年 第三次長期研修計画 開始

平成18年 第四次長期研修計画 開始

平成30年 第五次長期研修計画 開始

令和9年度～

第六次長期研修計画
開始



はじめに

過去の通知・答申
はこちらから



▽文部科学省HP▽



04

- ▶新型コロナウイルス感染症
- ▶教育現場のICT化
- ▶学校事務職員の職務規定
- ▶文部科学省通知
中央教育審議会答申
- ▶学校数と会員数の減少

第六次長期研修計画

＜ 検 討 ＞

- ▶会員が挑戦できる
研修・研究の内容
- ▶持続可能な研究会運営



目次

第六次長期研修計画

長期研修計画

- ▶ 第六次長期研修計画基本構想
- ▶ 第六次長期研修計画
- ▶ 研修
- ▶ 研究
- ▶ スケジュール

基礎的資料

- ▶ 新グランドデザイン - ふくしまジムコネクト -
- ▶ 福島県公立小中学校事務職員の標準的職務
- ▶ 福島県公立小中学校事務職員の資質向上に係る育成指標
- ▶ 福島県公立小中学校事務職員 研修プログラム（例）



テーマ

07



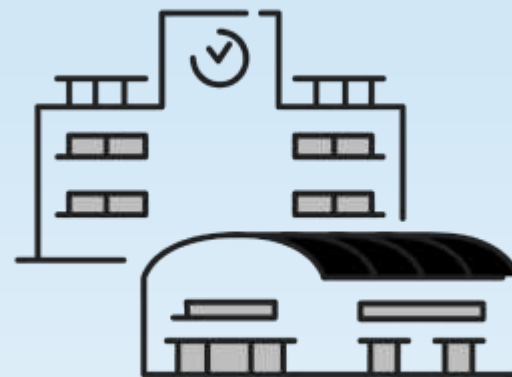
学校事務職員の挑戦

“自ら学び、ともに実践へ”

写真：令和7年度夏期研修会の様子
(県事務研会報より)



期間別テーマ



「想いをかたちに」

するための教育支援

I 期：協働
(つなぐ)
令和9～11年度

II 期：連携
(つなげる)
令和12～14年度

III 期：創造
(つかさどる)
令和15～18年度

第六次長期研修計画の柱

学び Input

会員の学ぶ意欲に応え、主体的な学びを支援するための多様な学びの機会を提供する

共有 Share

実践を共有できる環境を整え、「認め合い・高め合う」ことで会員間の同僚性と資質向上を支援する

～学校事務職員の挑戦を支援するために～

発展 Develop

関係機関、地域、教職員との連携・協働をより推進し、新たな学校事務の創造と挑戦を支援する

実践 Output

支部、共同・連携実施、個人など会員がどの立場でも意欲的に課題解決に挑戦できるよう支援する



研修

会員一人一人の主体的な
学びの尊重に向けて

10

標準的職務

育成指標

研修区分

研修分野

研修の企画

- ▶研修目的の明確化
- ▶経験年数や職務段階に応じた研修の実施



研修

期間別研修計画の設定

幅広い分野の学び
を提供します



年度	研修会	期間別 テーマ	県事務研が実施し目指す研修 (理想とする学校事務職員像の実現に向けて)
令和9年度	学校事務研修会 ふくしまジムセミナー	Ⅰ期 協働 (つなぐ)	「専門性を発揮して教育を推進する」 ための研修 子どもたちのため、教職員のため、リ ソースマネージャーとしての役割を発 揮して、専門的知識・組織力を生かし 子どもの学びをつなぐ。
令和10年度	学校事務研修会		
令和11年度	学校事務研修会 ふくしまジムセミナー		
令和12年度	学校事務研修会	Ⅱ期 連携 (つなげる)	「共に学び支え合う社会の実現に向け、 学校と地域社会をつなげる」ための研修 学校事務の共同・連携実施の仕組みを 進化させ、学校を基軸に地域社会や関 係機関との連携を図り、コーディネー ターとしてつなげていく。
令和13年度	学校事務研修会 ふくしまジムセミナー		
令和14年度	学校事務研修会		
令和15年度	学校事務研修会 ふくしまジムセミナー	Ⅲ期 創造 (つかさどる)	「子どもたちの学びを支え、教職員と共 に働く喜びを共感し、味わっていく」 ための研修 カリキュラムマネジメントを主体的に 行い校務運営に参画する。未来を見つ め、社会や時代の変化に対応しながら 学校事務を創造し、キャリア形成のた めに研修体系を充実させて学校事務を つかさどる。
令和16年度	学校事務研修会 ふくしまジムセミナー		
令和17年度	学校事務研修会		
令和18年度	学校事務研修会 ふくしまジムセミナー		



研修

期間別研修計画

12

I 期：協働
(つなぐ)
令和9～11年度



「専門性を発揮して教育 を推進する」ための研修

- ▶子どもたち・教職員のためのリソース
マネージャーとしての役割
- ▶専門的知識と組織力を生かした、子ども
の学びにつながる支援



研修

期間別研修計画

13

Ⅱ期：連携
(つなげる)
令和12～14年度



**「共に学び支え合う社会の
実現に向け、学校と地域社会
をつなげる」ための研修**

- ▶ 学校事務の共同・連携実施のあるべき仕組みの模索と効果的な運用
- ▶ 地域連携、関係機関との連携をコーディネートしていく



研修

期間別研修計画

14

Ⅲ期：創造
(つかさどる)
令和15～18年度



**「子どもたちの学びを支え、
教職員と共に働く喜びを共感
し、味わっていく」ための研修**

- ▶ I、Ⅱ期の学びを生かしたカリキュラムマネジメントと校務運営参画
- ▶ 新たな時代に対応できる学校事務職員を育てる研修体系の整備



研修

15

- ▶ **学校事務研修会**：県事務研の研究報告や、全国的な情報を得て、見識を広げながら深める

全体研修

内部講師による
研修

研修Ⅰ・Ⅱ

福島県教育庁義務教育課および
外部講師による研修



研修

- ▶ **ふくしまジムセミナー**：能動的且つ主体的な学びと
キャリアステージに応じた学び

領域別セミナー

会員の学びたい意欲

研修区分 | 研修分野

期間別研修計画

ステップアップセミナー

キャリアステージ

研修区分 | 研修分野

期間別研修計画



研究

▶ AIに代替え可能な職業 発展的な実践への挑戦



県内各支部の実態

第1-1-10表 AIの影響・補完別の職業(主な例)

(1) 影響が大きく、代替性が高い職業	
1	コールセンターオペレーター
2	保険代理人
3	経理事務員
4	パソコン操作員
5	総務事務員
6	一般事務員
7	編集者
8	印刷・製本作業員
9	データ入力事務員
10	娯楽場・スポーツ施設等接客員
11	受付・案内事務員
12	秘書
13	商品訪問・移動販売員
14	商品仕入営業員
15	プログラマー
16	税理士
17	管理・行政事務員
18	通信機器操作員
19	ネイリスト
20	計量計測機器・光学機械器具の整備・修理工

(出典：内閣府作成資料「AIで変わる労働市場(第1節)より」)



研究

研究課題の設定

支部研究の骨子が完成

年度	期間別 テーマ	実務課題 (標準的職務)	具体的な研究課題		本会で進める 研究
			職務確立課題	啓発課題	
令和9年度 令和10年度 令和11年度	I期 協働 (つなぐ)	学校経営 総務	学校事務の共同・ 連携実施 標準的職務	マネジメント 問題発見力、 課題解決能力	上位職・ キャリアパス に関する研究
令和12年度 令和13年度 令和14年度	II期 連携 (つなげる)	財務・経理 学務	職務権限と責任 関係機関等連携	革新性 創造性	地域社会や 関係機関との 連携に関する 研究
令和15年度 令和16年度 令和17年度 令和18年度	III期 創造 (つかさどる)		経営機能としての 学校事務 学校事務関連の諸 規定	コミュニケーション、 接遇 コーチング、 合意形成	魅力ある学校 事務の創造 に関する研究

支部の課題

本会が進める研究

具体的な研究課題

テーマ・期間別テーマ



研究

本会で推進する研究課題

19

I期：協働
(つなぐ)
令和9～11年度



上位職・キャリアパス に関する研究

- ▶ 学校事務の共同・連携実施に関する情報を収集・分析し、今後の展開を検討
- ▶ 上位職を含めた自身のキャリアパスを具体的に描けるような手立ての検討



研究

本会で推進する研究課題

20

Ⅱ期：連携
(つなげる)
令和12～14年度



地域社会や関係機関と の連携に関する研究

- ▶ 関係機関や地域協働、コミュニティ・スクールに関する先行事例の収集・分析から学校事務職員の実践につながる、有効な手立ての検討



研究

本会で推進する研究課題

21

Ⅲ期：創造
(つかさどる)
令和15～18年度

魅力ある学校事務の 創造に関する研究

- ▶ I、Ⅱ期の研究と各支部発表から見えてきた成果と課題の分析
- ▶ 魅力ある学校事務の実践につながる情報の発信



研究

「先行研究」の利活用

22

東北事務研 全 事 研

過去の研究を土台に
新たな研究の一步を



共有

23

全事研「実践事例データベース」

日常的に実践に触れ
実践のきっかけを作る

▽ 全事研HP ▽



実践事例データベース（令和6年度受賞者）	
10件	並び替え
検索	
カテゴリ	優秀賞
レポート	2024_36_保護者連絡アプリを活用した業務改善～ICTツールを最大限活用できる運用体制の構築～.pdf 104KB
支部	大阪小
応募者（団体）名	
概要	保護者連絡アプリの機能を最大限活用し、校内の様々な事務処理の負担軽減のために業務改善に取り組んだ。
アピールポイント	学校現場においてICTを活用した業務改善を行う際に必要なプロセスをまとめたこと。効果的かつ継続的な実践のためには組織全体で取り組むことが重要であること。
コメントフォーム	https://docs.google.com/forms/d/1D93Lbeag-tDehtVlw5fnei_o0JBV3xN_5kQpMAjLX/edit
皆様からのコメント	https://docs.google.com/spreadsheets/d/1BkpnPuygabMPX_bcojcsqH0zErB1X7mL9JpQxuyGqY/edit?usp=sharing
心	詳細を表示
カテゴリ	奨励賞
レポート	2024_12_職員全員で学ぶ事務研修～忘れがちな当たり前を再確認～.pdf 992KB
支部	静岡



共有

24

キャリアステージごとの交流の場として

ふくしまジムセミナーを通して 支え合う仲間の輪を広げる



写真：令和7年度夏期研修会の様子
(県事務研会報より)



実践支援

25

全事研「実践事例募集」

(近年の福島県応募数)

令和5年度
6件



令和6年度
2件



令和7年度
3件

全国からのコメントが次なる実践の一步に



実践支援

「大会運営サポートスタッフ」の設置



サクラ・ユーフォリアのロゴマーク

支部を超えた交流が
新たな経験と仲間をつくる



課題

27

学校事務職員の体系的な
研修制度を目指して

福島県公立小中学校学校事務職員の標準的職務

同 資質向上に係る育成指標

同 研修プログラム（例）

研修の充実に向けた
会員の意見



任命権者への提案



まとめ

第六次長期研修計画の展開

28

自ら学び、ともに実践へ

第六次長期研修計画の展開

自ら学び、共有・実践する場

県事務研：福島県公立小中学校事務研究大会、
ふくしまジムセミナー、学校事務研修会、講師派遣事業
東北事務研：東北地区公立小中学校事務研究大会
全国事務研：全国公立小中学校事務研究大会、全事研セミナー、
実践事例募集、実践事例データベース
支部事務研、学校事務の共同・連携実施：支部、グループの実態に
応じた学びと経験の共有化

学校事務の創造

子どもたちのために…

教職員とともに…

地域・関係機関とともに…

魅力ある学校事務の創造

学び

共有

実践

発展



ご視聴ありがとうございました



プランニング委員会
(令和8年7月作成)

